

通学に関する地区別要望事項一覧

No.	地区ごとの要望事項	調べた結果等
	(江見幼小PTA等)	
1	国道で乗降という案は承知しかねる。 旧道を通して学校、若しくは駅で停車してもらいたい。(雨天・バス停への迎えを考えると国道沿いでは困難) 2便が無理ならせめて1便でも旧道を通して欲しい。等	旧道を通る場合、マイクロバスタイプ(28人乗り)での対応が考えられるが、車両の大きさが小さくなるため、2便で全ての児童を乗せることは難しいと思われる。 また、1便をマイクロバスで運行する場合には、乗車人数に制限があるため、低学年専用とするなど、学年別に乗車便を指定することが必要になるとと思われる。
2	幼稚園児に30分のバスの乗車時間は長い、何とか短くならないか。	現在提示している時刻は素案であるため大まかな時間設定となっている。今後、入園希望者数の調査を行うなどして、実際に必要な時間を検討していく。
3	せめて1便は旧道を通してもらいたい。 素案を見た中で、園バス8:20外堀発の前の時間を動かして第1便として旧道を通してもらえないか。 第2便は素案のとおり大型バス国道として親に選択させたらどうか。	No.1の回答と同じ。 幼稚園の通園バスに予定している便を使用することは可能と思われるので検討したい。ただし、その場合には乗車便を指定させていただくことになると思われる。
4	(略)	
5	せめて1便はマイクロバスで旧道を通してもらいたい。(低学年専用としてでも) そして、旧道を通す通学・通園バスともに「茅野精米店」の三叉路から三原屋方面に向かうコースではなく内遠野のバスが旋回出来る場所まで乗り入れて欲しい。	No.1の回答と同じ。 仮にマイクロバスを低学年専用車・通園バスとした場合、内遠野に回る案については、出発時刻が早くなること、乗車時間が長くなることなどから低学年の児童・幼児には負担が大きくなるのではないかとと思われる。 また、道路の狭隘箇所、樹木の張り出し箇所など、調査が必要である。
6	2便を時間をずらす意味がないと思う。 2台一緒に同じ時間に運行できないか。 時間をずらしても、遅い便のほうが利用児童が多いに決まっている。	これまでの地区要望では遅刻対策として、30分間隔での運行を要望する意見であったため時間差を付けた素案を示していた。 教育委員会としては、高学年、低学年で活動状況の違いもあるため時間差を付けた運行としていきたいが、間隔については調整していきたい。
7	2便を時間差とすると「1便多し」「2便多し」で乗り切れない状況があるかもしれない。各家庭に調整(学年や地区で振り分ける)などのことはあるのか。	路線バスタイプ2便での運行では、乗車便の振り分けは想定していなかったが、マイクロバスでの運行を含む場合には、振り分けが必要になるとと思われる。
8	(略)	
9	1便は学校が開くより前にバスが到着すると素案2に書いてある。校庭で遊ばせるとしても、雨天時はどうするのか、職員がいない時間帯の怪我などの事故対応はどう考えているのか。	素案の段階であるため、今後の検討の中で学校の開場時間やバスの到着時刻等を調整していく。
10	1便と2便の間が30分間の時間差。1便に乗り遅れた場合、30分バス停で待つことになる。時間差を縮めて欲しい。	No.6の回答と同じ。 バスの運行間隔については、今後調整を図っていく。
11	吉浦は江見より先に乗せて欲しいという意見もある様。 判断力のある中学生と同じと考えず、国道を跨がせない方策を考えて欲しい。 交通量の多さからも、低学年のみマイクロバスで旧道を通して欲しい。	太海地区の要望No.2の回答と同じ。 マイクロバスの要望については、No.1の答えと同じ。
12	国道を跨ぐポイントに信号機を増やして欲しいという要望はできるか。	警察等関係機関と協議を進めていきたい。
13	江見・太海の新年度1・2年生の数は？ 28席のマイクロバスが江見、太海をまわると座りきれないのか。	38人を見込んでいる。(江見小学校区23人、太海小学校区15人) 素案2をベースに考えた場合、太海市街地の子ども達は別便となると考えている。

## 通学に関する地区別要望事項一覧

No.	地区ごとの要望事項	調べた結果等
14	長狭学園(幼稚園)は路線バスと併用のためか、園があっても園バスを運行しない日がある。江見もそうになってしまうか。	長狭学園と長狭幼稚園の通学・通園バスは別のもの。長狭幼稚園については路線バスの利用のみであるため、バスを運行しない日というのはないが、園外保育等で時間帯が合わない場合は、お迎えをお願いしているケースもある。 新江見幼稚園の通園バスについては、貸切バスを予定しているの、そうした場合にも対応していきたいと考えている。
15	夏休み中のバス運行は？ プール開放や学習などの日にはバスにのれるのか。	プール開放等にも対応していきたいと考えている。
16	一斉研で早く、若しくは体操教室、陸上教室などの特別指導などの場合はバスの運行はその都度変わるのか。	貸切バスのため、学校行事に即した対応ができるよう検討していきたい。
17	バス停をずらせるという事なので、特に歩道部分の少ないところ(FUSABUSA前など)は検討して欲しい。	現在検討中の運行ルートが決まってくれば、今後はバス停の位置等についても検討していきたい。
18	(略)	
19	幼稚園バスを園児がちゃんと座れるようにして、乗務員を2人にしてほしい。小学校のバスも乗務員を2人に。	幼稚園についてはマイクロバス1台で座れる幼児数であると認識している。添乗員については、長狭地区の小学校の例では1人であり、同様の対応を考えている。
20	小学生はかなりの人数がバスを利用すると思うが、幼バス利用者の人数は何人くらいを考えているか。あまり少ないとバスの意味がない。 しかし、少人数でもバス以外の手段がない家庭もあると思うので、距離設定も含め配慮してほしい。	幼稚園通園バスについては、江見、太海方面で最大33人を見込んでいるが、預かり保育の利用等により人数が変わってくるので、今後アンケート調査等を行い、人数の把握に努めたい。その結果等も踏まえて、様々な方法を検討していきたい。
21	小学校のバス案(曾呂1便が太海にまわる)にならって、幼稚園も曾呂8:20~8:40の後に太海をまわってはどうか。登園時刻9:00に間に合わないで10分ほど早めてはどうか。 江見の片道30分のバスは幼児には長い。できるだけ短い方が幼児への負担も少ない。体力的に寝てしまう子もいる。(長狭幼稚園のバスは片道15分)	幼稚園は、江見、太海方面がマイクロバス1台で乗車できると見込んでいるため曾呂便をまわすことは考えていない。 乗車時間については、現段階では素案であるため、今後短くなるよう検討していきたい。
22	長狭幼稚園ではバス利用の通園児は預かり保育を利用できないとのこと。親が送迎できないため祖父母に送迎をお願いしている場合、車の運転ができないためバスを利用したい家庭もあると思います。幼でバスのない日(長狭はかなりある)に預かり保育を利用しようと考えていましたが、通園バス利用の場合は預かり利用できないと聞き困っています。そういったケースを考え、バス・預かり両方を利用できるようにしてほしい。	預かり保育が必要とされる時間帯は、ご家庭毎に違いがあるため、全ての時間帯に通園バスに対応するのは難しい。 保育園を利用されるご家庭に、お子さんを送迎していただいているのと同じように、預かり保育を利用されるご家庭にはお子さんの送迎をお願いしたい。
23	スクールバスの中は、立って乗る子どもも多いと思うので、つり革や手すりなど、つかまる所を普通のバスよりも増やしてほしい。太海駅⇄江見中のスクールバスを利用していた昔、いつも急ブレーキや曲がる所などでバランスをくずすことも多かったです。子ども達が安全に行けるように。	スクールバス専用の車両ではなく、通常の路線バスに利用されている車両を活用する予定であるため、つり革等の増設は難しいと考える。 バスを2便出すことで、子ども達がなるべく座れるように、また、添乗員を配置することで安全に配慮していきたい。
24	現在、朝、鴨川から祖母宅に送り、祖母宅から江見小学校に通っているが、住所が鴨川でもバスに乗せてもらえますか。	祖母宅が江見小学校区にあり、祖母宅から登校し、祖母宅に帰宅しているのであれば、祖母宅の近くのバス停までの乗車は可能と思われる。

## 通学に関する地区別要望事項一覧

No.	地区ごとの要望事項	調べた結果等
	<b>(太海幼小PTA)</b>	
1	素案2で示された様に太海地区の子ども達が確実に座れるバスが来るならば、太海市街地を回る便は1便あればよい。	太海市街地に1台まわる案で検討していきたい。
2	太夫崎、吉浦地区の児童は、通学バスが江見外堀に向かう際に乗車させて欲しい。	乗車するために家を出る時間が早まること、乗車している時間が長くなることなどを保護者が承知していることが前提であるが、通学方法としては可能だと思われる。しかし、子どもの負担も増えるため、信号機付きの横断歩道がある場所を渡り、既存のバス停の位置をずらす等の方法も検討していきたい。
3	幼稚園の通園バス(マイクロバス)を吉浦、太夫崎の旧道にも通してほしい。	バス事業者に参加意見を求めたところ、吉浦の旧道については国道との合流地点に信号機がなく、また、国道が下りながらカーブしているため見通しが悪く、危険な箇所である。朝は通行量も多く合流するのに時間がかかってしまう。 太夫崎地区の旧道についても、国道と合流する箇所に信号機がないため、同じような状況であり、お子さんを乗せて安全運行するのに懸念があるという意見であった。 また、細かく回れば回るほど乗車時間が長くなり、幼稚園児の負担が増すこととなるため、吉浦、太夫崎地区の旧道についてはバスを走らせないこととしたい。
	<b>(曾呂幼小PTA)</b>	
1	現在のコミバス(朝の通学時間は、誰も乗っていない日が多い)を活用すれば経費削減になる。 中学生のスクールバス(中学のバスは、2便出ており、空席が多い。これを利用すれば、経費削減に大いに繋がる)を活用すれば経費削減になる。 ※上記2項目は、現在、同時刻に走っており、充分経費削減が図れる。 中学のスクールバスは、曾呂を走っている間は、他地域の子どもは乗らないため、充分、小学生も乗車することができる。 ※コミバス、中学スクールバス2台、小学校スクールバス、幼稚園バスを走らせると、単純に道路線を同じような時間(朝だけで)に5台も走らせることになり、大変な無駄ではないか。 ※中学のスクールバスの経路変更、コミバスの経路変更をする必要がある。	ご指摘のように、鴨川中学校のスクールバスとコミュニティバスが7時台に曾呂地区を走行しているが、乗車人数は大変少ない。 今後、両便の活用を視野に入れ、鴨川中学校やコミュニティバスの担当課である企画調整課と協議していきたい。
2	幼稚園の通園バスについては、園児数から考えると、ジャンボタクシーでも良いのではないか。(経費削減のため)	今後、預かり保育希望者の調査を行うなど、利用人数の把握に努め、車両の大きさを検討していきたい。
3	曾呂を走るスクールバス1台が新江見小へ到着した後、太海市街地を回るようにするため、出発時間が多少早まっても構わない。(ただし、後発のコミバスor中学スクールバスに乗れることが必須となる)	—
4	コミバス&中学のスクールバスへ小学生が乗ることについては、曾呂地区民であれば充分、理解が得られると思う。	—
5	出発地点を曾呂終点ではなく、水田家の上(林道付近)からにしてほしい。(曾呂終点から風早バス停まで、子どものいる民家がないため。走行距離としては、変わらない。無駄なくバスを走らせるためにも)	要望をいただいてから学校教育課で現地を確認するとともに、バス事業者にも現地を確認していただいた。バス事業者の見解としては、風早についてはマイクロバスの大きさと入って行けるが、バスの回転場所に適した場所が見当たらない。二子地区については、マイクロバスで入って行けて、バスを回転できる場所もあるが、両地点とも、県道に比べて高い場所にあり、通行量も少ないことから、冬期には凍結、積雪時の除雪などが心配される。お子さんを乗せて安全な運行を図るには懸念がある、という意見であった。
6	二子地区へスクールバスを上げてほしい。(高低差が有り過ぎ子ども達には非常に厳しい。バスであれば、時間的にはあまりかからない。)	